

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第80期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小熊 信一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸山 光二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸山 光二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第79期 第1四半期連結 累計期間	第80期 第1四半期連結 累計期間	第79期
会計期間	平成23年4月1日 平成23年6月30日	平成24年4月1日 平成24年6月30日	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高(千円)	665,854	610,952	2,560,586
経常利益(千円)	29,119	26,907	91,500
四半期(当期)純利益(千円)	16,323	13,608	45,655
四半期包括利益又は包括利益(千円)	15,770	3,314	76,820
純資産額(千円)	1,790,843	1,839,323	1,851,893
総資産額(千円)	3,350,064	3,245,331	3,237,319
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	7.71	6.43	21.56
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	52.1	55.1	55.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	154,249	48,061	209,358
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	17,599	153	92,903
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,209	11,166	127,384
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	543,312	434,990	397,942

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当社グループの平成25年3月期第1四半期の売上高につきましては、前年同四半期は東日本大震災による影響で、得意先数社において前倒し生産が行われたこと等で受注が増加しましたが、当四半期においては平常通りの生産体制に戻った事もあり昨年実績を下回り、売上高6億1千万円（前年同期比8.2%減）となりました。

利益面につきましては、売上高が減少した事に伴い営業利益1千9百万円（前年同期比11.3%減）、経常利益2千6百万円（同7.6%減）、四半期純利益1千3百万円（同16.6%減）とそれぞれ減少しました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して8百万円増加し32億4千5百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金（純額）が3千1百万円及び未収入金が1千8百万円減少した一方で、現金及び預金が5千2百万円及び商品及び製品が3千8百万円増加したことによるものであります。

（負債）

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して2千万円増加し14億6百万円となりました。主な要因は、社債が2千5百万円減少した一方で、長期借入金が2千9百万円、賞与引当金が3千8百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して1千2百万円減少し18億3千9百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額が1千万円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3千7百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には4億3千4百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、4千8百万円（前年同四半期比68.8%減）となりました。これは主にたな卸資産の増加による支出3千3百万円及び法人税等の支払3千5百万円があった一方で、税金等調整前四半期利益の計上2千6百万円、賞与引当金の増加3千8百万円並びに売上債権の減少による収入3千1百万円及び未収入金の減少による収入1千8百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、15万3千円（前年同四半期は1千7百万円の減少）となりました。これは主に定期預金の預け入れによる支出1億5百万円と有形固定資産の取得による支出7百万円があった一方で、定期預金の払い戻しによる1億1千4百万円の収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1千1百万円（前年同四半期比405.5%増）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入8千万円があった一方で、長期借入金の返済による支出5千万円、社債の償還による支出2千5百万円及び配当金の支払による支出6百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	2,142,000	-	107,100	-	582

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,000	21,130	-
単元未満株式	普通株式 5,000	-	-
発行済株式総数	2,142,000	-	-
総株主の議決権	-	21,130	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が73株含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目 15番9号	24,000	-	24,000	1.12
計	-	24,000	-	24,000	1.12

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	275,282	327,337
受取手形及び売掛金(純額)	2, 3 673,038	2, 3 641,359
有価証券	241,372	227,372
商品及び製品	404,639	443,339
仕掛品	4,910	494
原材料及び貯蔵品	39,595	38,954
未収入金	58,847	40,575
繰延税金資産	34,604	44,607
その他	1,218	3,414
流動資産合計	1,733,509	1,767,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	299,326	295,597
機械装置及び運搬具(純額)	153,083	156,320
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	20,626	10,477
その他(純額)	7,470	7,559
有形固定資産合計	926,603	916,050
無形固定資産	2,013	1,945
投資その他の資産		
投資有価証券	484,270	469,337
その他	103,159	102,780
貸倒引当金	12,237	12,237
投資その他の資産合計	575,193	559,880
固定資産合計	1,503,810	1,477,876
資産合計	3,237,319	3,245,331

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,806	141,787
1年内返済予定の長期借入金	184,125	190,800
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	35,934	24,481
未払事業所税	7,275	1,754
賞与引当金	57,180	95,392
その他	113,647	120,833
流動負債合計	596,969	625,048
固定負債		
社債	100,000	75,000
長期借入金	191,600	214,800
繰延税金負債	86,578	80,192
退職給付引当金	143,107	141,346
役員退職慰労引当金	238,668	241,077
資産除去債務	28,503	28,543
固定負債合計	788,457	780,960
負債合計	1,385,426	1,406,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,470,065	1,467,789
自己株式	8,412	8,412
株主資本合計	1,569,335	1,567,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,348	222,263
その他の包括利益累計額合計	232,348	222,263
少数株主持分	50,210	50,000
純資産合計	1,851,893	1,839,323
負債純資産合計	3,237,319	3,245,331

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	665,854	610,952
売上原価	533,438	483,873
売上総利益	132,415	127,078
販売費及び一般管理費	110,206	107,369
営業利益	22,208	19,709
営業外収益		
受取利息	107	114
受取配当金	7,877	7,386
受取賃貸料	1,417	2,320
その他	1,119	1,204
営業外収益合計	10,522	11,026
営業外費用		
支払利息	2,226	1,723
賃貸費用	950	1,808
その他	434	295
営業外費用合計	3,611	3,827
経常利益	29,119	26,907
税金等調整前四半期純利益	29,119	26,907
法人税、住民税及び事業税	32,278	24,312
法人税等調整額	19,120	10,803
法人税等合計	13,157	13,508
少数株主損益調整前四半期純利益	15,961	13,399
少数株主損失()	362	209
四半期純利益	16,323	13,608

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,961	13,399
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	191	10,084
その他の包括利益合計	191	10,084
四半期包括利益	15,770	3,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,132	3,523
少数株主に係る四半期包括利益	362	209

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	29,119	26,907
減価償却費	20,183	16,902
賞与引当金の増減額(は減少)	39,393	38,212
貸倒引当金の増減額(は減少)	31	2
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,646	2,409
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,278	1,761
受取利息及び受取配当金	7,985	7,501
支払利息	2,226	1,723
売上債権の増減額(は増加)	634	31,681
たな卸資産の増減額(は増加)	23,771	33,641
仕入債務の増減額(は減少)	17,485	7,019
未収入金の増減額(は増加)	661	18,271
未払消費税等の増減額(は減少)	9,315	9,916
その他	9,720	2,231
小計	149,157	78,496
利息及び配当金の受取額	7,895	7,409
利息の支払額	2,704	2,078
法人税等の支払額	100	35,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,249	48,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	100,518	105,527
定期預金の払戻による収入	93,005	114,021
有形固定資産の取得による支出	8,718	7,982
投資有価証券の取得による支出	696	736
その他の支出	670	378
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,599	153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	80,000
長期借入金の返済による支出	51,325	50,125
社債の償還による支出	35,000	25,000
配当金の支払額	6,413	6,541
その他の支出	9,470	9,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,209	11,166
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	134,440	37,048
現金及び現金同等物の期首残高	408,872	397,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	543,312	434,990

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	130,672千円	178,855千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	863千円	861千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	5,000千円	5,000千円
裏書譲渡手形	10,855	8,462

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
現金及び預金勘定	411,926千円	327,337千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	121,681	119,718
有価証券勘定	253,067	227,372
現金及び現金同等物	543,312	434,990

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成24年6月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成24年6月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成24年6月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7円71銭	6円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	16,323	13,608
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	16,323	13,608
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月6日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 奈尾 光 浩
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 伊集院 邦 光
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。